

かながわ明日リゾート

ライフル射撃
(10mエア・ライフル)



一ノ渡 桜
選手*
アマノ

「世界との差を距離にすればわずか0・2〜3mm。でも、それが遠いのです」。そう語るのは一ノ渡桜さん。次代の日本射撃界を担う、期待の若手だ。

射撃競技には大きくライフルとピストルがあり、さらに距離や射撃姿勢によっていくつかの種目に分かれている。その歴史は古く、第1回のアテネからオリンピックの正式種目になっている。的のセンターに命中させるには強いメンタルが求められる。

「負けず嫌いな性格が、この競技向きです」という一ノ渡さんがライフル射撃と出会ったのは高校時代。高木学園(横浜市港北区)入学後、先輩のりりしい姿にあこがれて始めた。高校3年時にインターハイ優勝を果たし、法政大学進学後は国体連覇をはじめ国内外でめざましい実績を積む。2018年には世界選手権にも出場した。

現在の国内ランキングは4位。目標はもちろん2020年の東京五輪出場。現在、出場権獲得に向けて練習と試合に取り組み毎日だが、「焦らず、長い目で取り組んでほしい」というのは、17年からの一ノ渡さんを応援してきたアマノ(横浜市港北区)広告宣伝部の永井真理子さんだ。一ノ渡さんは今年4月に同社に入社した。永井さんは「選手生活と仕事の両立を一緒に模索して行きたい」と温かく見守る。

フルーツが好きという一ノ渡さん。JAグループ神奈



川からのレモンやキウイなど県産果物のお土産に思わずこぼれた笑顔と、「年をとったとき、射撃をやって良かったなと思う、そんな競技人生を送りたいんです」という言葉が印象的だった。



JAグループ神奈川は、
神奈川のアスリートを応援しています。

企画・制作: 神奈川新聞社クロスメディア営業局